8/2 早稲

トヨタ営業益1兆円超

4～6月期 四半期で国内初

トヨタ自動車が一日発表した二〇二三年四～六月期連結決算は、本業のもうけを示す営業利益が前年同期比93・7％増の一兆一千二百九億円だった。販売台数の増加で、二一年四～六月期の九千九百七十四億円を上回り過去最高を更新。日本の企業で初めて四半期の営業利益が一兆円を超えた。＝関連⑪面

売上高は24・2％増の十兆五千四百六十八億円、純利益は78・0％増の一兆三千百十三億円で、いずれもトヨタの全ての四半期業績の過去最高を更新した。

一方、米国の利上げや電気自動車（ＥＶ）化が急速に進む中国市場の動向など先行きは不透明として、実現すれば日本企業初となる営業利益三兆円の二四年三月期通期業績予想は据え置いた。長田准執行役員は、今後の見通しについて「楽観的にみていない」と述べた。

二三年四～六月期の連結販売台数は、15・5％増の二百三十二万六千台で、半導体不足が生産に影響した前年から大幅に増えた。32・0％増の国内がけん引し、海外も全地域で伸びた。ハイブリッド車（ＨＶ）を中心に電動車は三割近く伸び、ＥＶは六倍強の二万九千台を販売。通期では二十万台を計画している。

北米と欧州を中心に海外で高価格帯の商品販売が好調だったほか、円安も利益を押し上げ、資材価格高騰や人件費増加など減益要因をはね返した。半導体不足の影響は緩和してきたものの依然として新型車を中心に納車待ちが発生しておりトヨタは「引き続き、少しでも早くお届けできるよう努力していく」としている。

トヨタ自動車の連結決算

	2023年4～6月期	24年3月期予想
売上高	☆10兆5468億円 (24.2%)	☆38兆円 (2.3%)
営業利益	☆1兆1209億円 (93.7%)	☆3兆円 (10.1%)
純利益	☆1兆3113億円 (78.0%)	2兆5800億円 (5.2%)
為替レート	1㌦＝137円	1㌦＝125円

※かっこ内は前年同期比増減率、☆は過去最高